

年 組 () 名前

サイン

◆^{ふゆ やま}冬の山は、^{けしき み}とてもうつくしい景色を見せてくれることがあります。(2024年2月19日 読売新聞鳥取版より)



「おーつ」と
うつとり

米子市の国史跡・米子城跡で18日、朝日が大山(1729[㌢])の山頂付近をまばゆく照らす「ダイヤモンド大山」の観望会(米子市観光協会主催)があった。

地球が太陽の周囲を回る公転の影響で毎年2月と10月の数日間、城跡の天守台から眺めると、昇ってくる太陽が大山の山頂に重なる。山頂が光り輝く美しさがSNSなどで話題を呼んでいる。

この日早朝、城跡には観光客約1000人が集まった。午前7時15分過ぎ、朝日が山頂近くから顔をのぞかせると「おーつ」と歓声が上がった。ダイヤモンド大山は20日とその前後の2、3日間、天守台から見られる。

【1】^{だいせん}しゃしんは、^{ちようじよう}大山の頂上から^{あさ ひ}朝日がのぼるひとときを^{ほうせき}うつしたものです。ある宝石にたとえて、このながめは、なんとよばれていますか。カタカナ6字でかきましょう。

--	--	--	--	--	--

^{だい} ^{せん}
大山

【2】あなたが^{やま}している山のなまえを、うらにたくさんかきましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆日本^{はたら}で働く外国人労働者^{ろうどうしゃ}が増えています。昨年^ふは初めて^{さくねん}200万人^{はじ}を超え^こました。

(2024年2月8日 読売KODOMO新聞より)



外国人労働者204万人

日本^{はたら}で働く外国人労働者^{がいこくじんろうどうしゃ}は、昨年^{さく}10月^{ねん}時点で過去最多^{かこさいた}の204万8675人^{まん}になりました。過去最多^{かこさいた}を更新^{こうしん}するのは11年^{ねん}連続^{れんぞく}で、200万人^{まんにん}を超える^このは初めて^{はじ}です。

外国人労働者^{がいこくじんろうどうしゃ}が増えている理由^{りゆう}は、日本人^{じん}の働き手^{はたら}が減っているから^へです。日本^{はたら}の人口^{じんこう}は、2008年^{ねん}の1億2808万人^{おくにん}をピーク^{ピー}に減り^へつづいていて、2100年^{ねん}には今の半分^{いま}ほどの約6300万人^{はんぶん}にまで減ると予測^{よそく}されています。



コンビニで働く外国人の店員

生産活動^{せいさんかつどう}の中心^{ちゅうしん}となる15～64歳^{さい}の人口^{じんこう}を「生産年齢人口^{せいさんねんれいじんこう}」と言いますが、この世代^{せいだい}の人口^{じんこう}も減っています。そのため、外国人^{がいこくじん}を積極的に採用^{せつ}する会社^{かいしゃ}が増えているのです。

外国人労働者^{がいこくじんろうどうしゃ}のうち、国籍^{こくせき}でいちばん多いのはベトナム^おで約51万人^お。その後は、中国^{ちゅうごく}の約39万人^{ちゅうごく}、フィリピン^あの22万人^あと続いています。

【1】外国人労働者はなぜ増えているのか、記事を読んでまとめましょう。

【発展問題】外国人労働者の労働環境^{かんきょう}について調べ、わかったことを書きましょう。

年 組 () 名前

サイン

◆商品を買ったりサービスを利用したりする客が、
きぎょう じゅうぎょういん
企業や店の従業員に道理に合わない要求や不満
を突きつける「カスタマーハラスメント(カスハラ)」
をなくす機運が高まっています。

(2024年2月20日 読売新聞朝刊より)

顧客ハラスメントの主な事例

- 大声での暴言、罵声
- 長時間にわたるクレーム
- 要求を繰り返して揚げ足を取る
- 言いがかりをつけて返金や値下げを要求
- SNSへの投稿をほのめかした脅し
- 従業員へのつきまとい



【1】東京都がカスタマーハラスメントの防止条例を制定したい理由を説明しましょう。

【2】カスタマーハラスメントのほかに、社会にはどのようなハラスメントがあるか、調べましょう。
また、それぞれのハラスメントをどう思ったか、あなたの感想や意見を裏に書きましょう。

東京都は、顧客が企業の従業員に理不尽な要求や悪質なクレームを突きつける「カスタマーハラスメント(カスハラ)」の防止条例を制定する方針を固めた。カスハラを禁止をうたい、働く人を守るルールを設け

ることで、根絶に向けた機運を醸成したい考え。カスハラ防止を柱とする条例は全国初となる。カスハラは、従業員に土下座して謝罪するよう強要したり、暴言を吐いて過度な要求を繰り返したりする

などの迷惑行為が該当するとされる。近年、被害を受けた従業員が、心身の不調で離職や自殺に追い込まれるなど、小売・サービス業界を中心に問題化。都は昨年10月に有識者会議を設置し、対策を検討してきた。

都関係者によると、条例案では、カスハラの禁止を明記し、年内の都議会への提出を目指す。従業員をカスハラから守る企業側の責務を規定することも検討する。禁止行為の具体事例は、別途策定するガイドライン(指針)で示す見通し。

また、行き過ぎた迷惑行為には強要罪など刑法の規定を適用できることもあり、条例では違反者への罰則を設けない方向だ。

カスハラ問題に詳しい関西大の池内裕美教授は「従業員を傷つけるような行き過ぎた迷惑行為は、働く意欲をそぎ、サービスの低下を招く。さらなる消費者の不満を生む負の循環に陥り、社会にとっても損失だ」と指摘。「多くの人に理解を深めてもらうためにも、都はどのような行為がカスハラに該当するのか、わかりやすく示す必要がある」と述べた。

年 組 () 名前

サイン

工房8割被災か

輪島塗 新たな苦境

◆日本の漆文化を代表する伝統工芸「輪島塗」が、能登半島地震で大きな被害を受けました。
(2024年1月27日 読売新聞朝刊より)

◆輪島塗の生産額と従事者の推移



能登半島地震で、国の重要無形文化財の輪島塗が、石川県輪島市在住の重要無形文化財保持者（人間国宝）3人が被災し、大半の生産・販売拠点が倒壊や焼失するなど甚大な被害を受けたことがわかった。輪島塗は同地域を襲った2007年の地震でも被害を受け再建したばかり。日本の漆文化を代表する伝統工芸で、能登地方の主要な観光資源の一つでもあり、政府は再建に向け包括的な支援策の検討を急ぐ方針だ。

輪島塗 木製のお椀（わん）やお盆、重箱に地元産の珪藻土（けいそうど）を原料とする地の粉を混ぜた下地漆を丁寧に塗り重ね、沈金や蒔絵（まきえ）で装飾する高度な技法などが特徴。1997年に伝統的工芸品に指定されている。

輪島塗は、室町時代に生産が始まったとされる。芸術的な価値が高く、1977年に漆器産地で初の重要無形文化財に指定された。個人事業主を含め従事者が全体で約1000人いるとされ、工房や事業所は輪島市街地に集中している。市漆器振興戦略室によると、従事者の7〜8割は工房兼自宅が倒壊するなど被害を受けたとみられる。

輪島漆器商工業協同組合によると、加盟103社のうち、輪島市の朝市通り周辺の火災により少なくとも15社の事業所と店舗が焼失した。さらに漆器製造販売大手「五島屋」など複数の事業所が全半壊し、同組合の隅堅正事務局長（66）によると、「被害の全容はまだつかめない」状況という。

市在住の3人の人間国宝のうち、沈金の山岸一男さん（69）は左肩を骨折した。技術継承の拠点である石川県立輪島漆芸技術研修所は、地震による断水と余震などのため休講している。

輪島塗は2007年にも地震の被害を受け、市によると85件の事業者の建物が全半壊した。だが、今回は朝市通り周辺の火災や全域に広がる建物倒壊の規模が大きく、市は「被害は比べものにならない」とする。

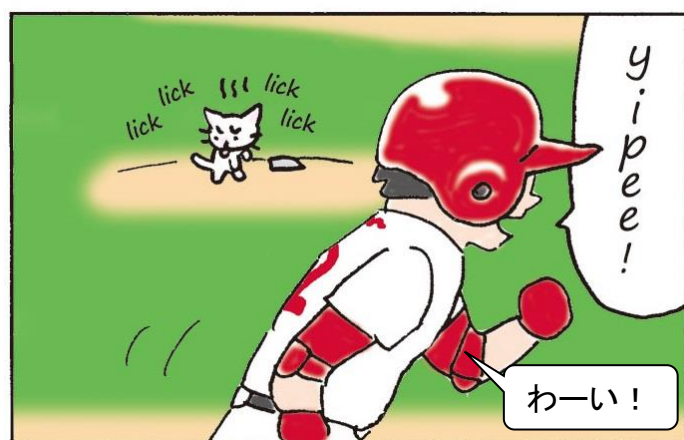
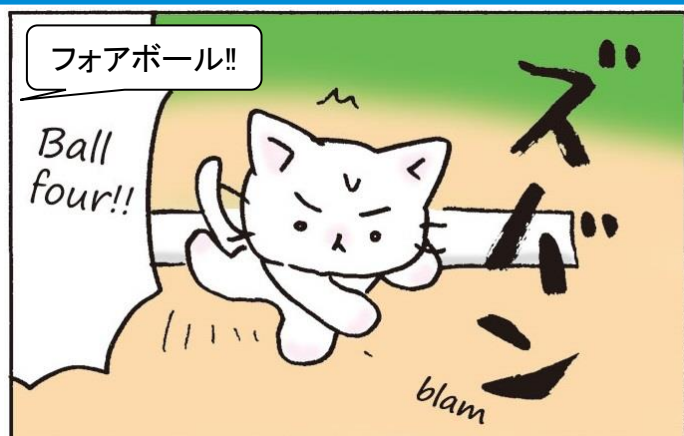
【1】輪島塗は、地震で被害を受ける前からどのような課題がありましたか。

【2】能登半島地震で被害を受けた伝統工芸に、個人でも参加できる支援の輪が広がっています。どのような支援ができるかを調べて、書きましょう。

【発展問題】あなたの住む自治体の伝統工芸品について、成り立ちや特徴を調べ、観光客へ紹介する文を裏に書きましょう。



読売新聞社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



◆ しきゅう あた けづくろ からだ
四球を与え、しきりに毛繕いする(体をな
める)ミー太郎。ベンチは、スタミナ切れと判
断したようです。

アウトオブガス

out of gas

ガソリン^ぎ切れ、スタミナ^ぎ切れ

「out of 〜」で「〜を切らしている、がない」という意味です。「ガソリン切れ」は人の場合、「体力が尽きる」というニュアンスです。

★こんな表現も使ってみよう★

アウト オブ プレス いき き
・out of breath 息を切らす

アウト オブ ザ ピクチャー
▪ out of the picture

かんけい じゅうよう
関係がない、重要でない

イン ザ ピクチャー かんけい
・in the picture 関係している

単語帳

yippee(yippee): やったー、わーい、
る、vikes: うわあ、'bout: aboutの略

★なぞってみよう★

out of gas

out of breath

上手な医療のかかり方

出前授業 in 明星高等学校

高いレベルの医療を、だれもが安心して少ない負担で受けられる日本。少子高齢化や、都市部への人口集中が進む中で、この環境を守り、よりよいものにしていくためには、どうすればいいのでしょうか。「上手な医療のかかり方」プロジェクトを展開する厚生労働省の担当者を講師に迎え、高校生が考えました。

<講師>厚生労働省 医療政策企画官 坪口創太さん

必要な時、必要な人が
医療を受けるために

考えよう

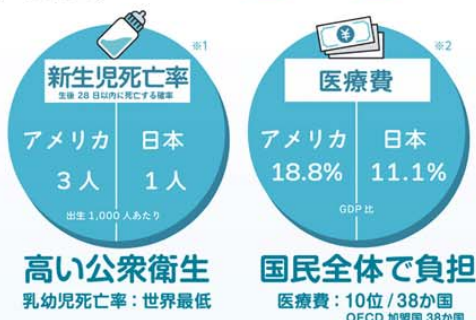
ケガや病気…救急車を呼ぶか悩んだら？

東京都府中市にある明星高校で行われた出前授業には、同高の1年生31人が参加しました。講師は、厚生労働省の坪口創太・医療政策企画官です。高校生たちが医療を意識するのは、部活でケガをしてしまったときや、休日や夜間に急に具合が悪くなったときです。坪口さんは、判断に迷った時に医療関係者のアドバイスを求められる相談ダイヤル「#7119」を紹介。「何も考えず救急車を呼んでいたら、何台あっても足りません。判断に迷う際に相談してみてください」とアドバイスしました。



実はすごい！日本の医療

日本にはたくさんの医療機関があります。坪口さんは、「急性期」「回復期」「慢性期」などに分かれた医療機関の役割を解説。日頃から近くの診療所などを「かかりつけ医」としておくことで、「何かあった時に相談できるようにして、必要に応じてより高度な医療機関に紹介してもらえるようにしておくことが大切」と話しました。



2040年、高齢化がピーク…どうする医療!?

日本の医療は世界的に見ても高いレベルにあると言われています。坪口さんが、新生児の死亡率が低く、医療費の負担も少ない日本の現状を米国と比較しながら解説すると、高校生たちは目を見張りました。高校生たちが社会で活躍する2040年。日本は高齢者人口のピークを迎えます。坪口さんは、今の医療体制を維持するために「地域ごとに医療機関や医師を適正に配置し、医師の働き方改革も必要」と訴えました。

グループワークで意見交換

予防策のアイデアを発表！

必要な医療をみんなが受けられるようにするにはどうすればいいのでしょうか。高校生と一緒に考えてもらおうと、坪口さんが出したテーマの一つが、「高齢者が転倒して救急車を呼び、大学病院にかかったが、特に異常はなかった」というケースです。高校生たちは、「まずかかりつけ医に相談する」「救急車を不用意に呼ばない」などの意見を出し合いました。坪口さんは、「救急車を呼ぶことを我慢しなくてもいいが、相談ダイヤルなどを上手に利用してほしい。必要な人が必要な医療を受けられる仕組みを整えていくことが大切」とメッセージを送りました。



医師の「働き方改革」も必要なんだ
ふじもり あみ
藤森 愛美さん

「グループワークでは、会社が健康診断を受けやすくする仕組みをつくるのが大切という意見があり、新鮮だった。医師の働き方改革も必要という点について知ることができた」



自分でも日々の生活に気をつける
うつのみや りつうま
宇都宮 琉真さん

「日本は医療の環境が良いことを学んだ。一方で、地域によって医師の偏りも問題になっていると感じた。自分でも日々の生活に気を付けて、必要な人に医療が提供できるようにしたい」



医療について、もっと知りたくなった
ほそや まや
細谷 真矢さん

「元々医療には関心があった。普段は意識していないが、医療を受ける側の私たちも気をつけることが大切だと分かった。医療の仕組みや制度について、自分でも調べてみたい」

みんなの医療を守るために、活用しよう！相談ダイヤル

休日・夜間の子どもの症状で困った時は
こども医療でんわ相談 **#8000**

病院へ行く？救急車を呼ぶ？…迷ったら
救急安心センター事業 **#7119**

上手なかかり方が、あなたと医療を救う。

上手な医療のかかり方

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

かかり方、変えよう